

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2025 年 4 月 18 日

大阪府知事 殿

病院名 市立岸和田市民病院  
開設者 岸和田市長 佐野 英利

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。  
また、併せて、同省令第 9 条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。  
（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号 1 から 27 までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 28 から 38 までについても記入してください。

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 1 ー

病院施設番号： 030518

臨床研修病院の名称： 市立岸和田市民病院

記入日：2025年4月18日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	030518	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 市立岸和田市民病院群 番号 0305186
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ オオツカ シホ 氏名(姓) (名) 大塚 しほ		役職 (内線 3384 ) (直通電話 ( 072 ) 445 — 8835 ) e-mail : byouin@city.kishiwada.osaka.jp <small>(携帯電話のメールアドレスは不可とします。)</small>
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ シリツキシワダシミンビョウイン 市立岸和田市民病院		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 596-8501 (大阪府 ) 岸和田市額原町 1001 番地 電話 : (072) 445-1000 F A X : (072) 441-8812 二次医療圏 の名称 : 大阪・泉州		
3. 病院の開設者の氏名 (法 人の名称) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ キシワダシチョウ サノ ヒデトシ 岸和田市長 佐野 英利		
4. 病院の開設者の住所 (法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 596-8510 (大阪府 ) 岸和田市岸城町 7 番 1 号 電話 : (072) 423-2121 F A X : (072) 423-4644		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ ヨコミセ 姓 横見瀬	ヒロヤス 裕保	
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙 1 に記入 研修管理委員会の全ての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型・協力型記入)</small>	<a href="https://www.kishiwada-hospital.com/">https://www.kishiwada-hospital.com/</a>		

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号： 030518      臨床研修病院の名称： 市立岸和田市民病院

	※	
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤： 112 名、非常勤（常勤換算）： 0 名 計（常勤換算）： 112 名、医療法による医師の標準員数： 37.3 名 <small>* 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式A-3に記入</small>
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日：2002年02月19日、告示番号：第 231 号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 (2) 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	(1) 有 ( 104.640 ) m <sup>2</sup> 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 11,787 件（うち診療時間外： 7,418 件） 1日平均件数： 32.2 件（うち診療時間外： 20.3 件） 救急車取扱件数： 5,019 件（うち診療時間外： 2,617 件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 6 名、看護師及び准看護師： 5 名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系 (1) 有 0. 無) 外科系 (1) 有 0. 無) 小児科 (1) 有 0. 無) その他 ( )
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 400 床、2. 精神： _____ 床、3. 感染症： _____ 床 4. 結核： _____ 床、5. 療養： _____ 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入 <small>年次報告の場合には、患者数は報告年度の前年度分、研修医の数は報告年度の前年度分の実績と当年度分の想定を記入。研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度の前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の想定を記入。</small>
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 10.9 日、2. 精神： _____ 日、3. 感染症： _____ 日 4. 結核： _____ 日、5. 療養： _____ 日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数： 106 件、異常分娩件数： 47 件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績： 2 回、今年度見込： 2 回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記入
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入
	剖検数	前年度実績： 3 件、今年度見込： 10 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 (1) 有 0. 無 ( _____ ) 大学、( _____ ) 病院 <small>無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。</small>
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	(1) 有（単身用： 8 戸、世帯用： _____ 戸） 0. 無（住宅手当： _____ 円） <small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small>
	研修医室	1. 有 ( _____ 室) (0) 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small>
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	( 149.500 ) m <sup>2</sup>
	医学図書数	国内図書： 6,976 冊、国外図書： 928 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 164 種類、国外雑誌： 46 種類
	図書室の利用可能時間	0：00 ～ 24：00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース (1) 有 0. 無)、教育用コンテンツ (1) 有 0. 無)、 その他 ( Up To Date ) 利用可能時間 ( 0：00 ～ 24：00 ) 24時間表記
医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター (1) 有 0. 無)、 その他 ( 腹腔鏡トレーナーボックス、CV 穿刺シミュレーター、気道管理トレーナー )	





# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号： 030518                      臨床研修病院の名称： 市立岸和田市民病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※	
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 <small>(基幹型記入)</small>			* 別紙5に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>			女性 1年次研修医 ( 0 ) 名 2年次研修医 ( 0 ) 名 男性 1年次研修医 ( 0 ) 名 2年次研修医 ( 0 ) 名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	院内保育所		院内保育所の有無 ( 1. 有 0. 無 ) <small>有を選択した場合、開所時間を記入してください ( 7 時 30 分 ~ 19 時 00 分 )</small>
			病児保育 ( 1. 有 0. 無 )
			夜間保育 ( 1. 有 0. 無 )
			上記保育所は研修医の子どもに使用可能か ( 1. 可 0. 不可 )
	保育補助		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 ( 1. 有 0. 無 )
			その他の補助 ( 具体的に : )
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所		休憩場所 ( 1. 有 0. 無 ) 授乳スペース ( 1. 有 0. 無 )
	その他育児関連施設・取組があれば記入 ( 院外との連携した取組もあれば記入 )		( )
	研修医のライフイベントの相談窓口		1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入 ( ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 名 ) 0. 無
	各種ハラスメントの相談窓口		窓口の名称を記入 ( 医療安全管理室、事務局経営管理課 ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 1 名 ) 0. 無
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。			
28. 研修プログラムの名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small> プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称：市立岸和田市民病院臨床研修プログラム プログラム番号： <u>030518609</u>
29. 研修医の募集定員 <small>(基幹型記入)</small>			1年次： 5 名、2年次： 4 名
30. 研修医の募集及び採用の方法 <small>(基幹型記入)</small>	研修プログラムに関する問い合わせ先		フリガナ 材ツカ 沐 氏名 ( 姓 ) ( 名 ) 大塚 しほ 所属 役職 事務局経営管理課 電話：(072) 445—1000 F A X：(072) 441— 8812  e-mail：byouin@city.kishiwada.osaka.jp  URL：https://www.kishiwada-hospital.com/
	資料請求先		住所 〒596-8501 ( 大阪府 ) 岸和田市額原町 1001 番地  担当部門 担当者氏名 フリガナ 材ツカ 沐 姓 大塚 名 しほ 電話：(072) 445—1000 F A X：(072) 441—8812  e-mail：byouin@city.kishiwada.osaka.jp  URL：https://www.kishiwada-hospital.com/category/recruit/medical_intern/ http://

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－５－

病院施設番号： 030518      臨床研修病院の名称： 市立岸和田市民病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

<b>30. 研修医の募集及び採用の方法（続き）</b> <small>（基幹型記入）</small>	<b>募集方法</b> 1. 公募 2. その他（具体的に： ）	1. 履歴書    2. 卒業（見込み）証明書、 3. 成績証明書、 4. 健康診断書、5. その他（具体的に： ）
<b>応募必要書類</b> <small>（複数選択可）</small>	<b>選考方法</b> <small>（複数選択可）</small>	1. 面接 2. 筆記試験 その他（具体的に： ）
<b>募集及び選考の時期</b>	募集時期： 5 月 1 日頃から 選考時期： 7 月 25 日頃から	
<b>マッチング利用の有無</b>	1. 有    0. 無	
<b>31. 研修プログラムの名称及び概要</b> <small>（基幹型記入）</small>	概要： * 別紙3に記入 （作成年月日：西暦 2025 年 3 月 28 日）	
<b>32. プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等）</b> <small>（基幹型記入）</small> * プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入 * 副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入	（プログラム責任者） フリガナ      姓      名 カガナ      タカシ      ケンイチ 氏名（姓）      氏名（名） 高橋      憲一 所属      役職 市立岸和田市民病院医療局      医療局長 （副プログラム責任者） 1. 有（      名）    0. 無	
<b>33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等</b> <small>（基幹型記入）</small> 全ての臨床研修指導医等（協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。）について氏名等を記入してください。	* 別紙4に記入	
<b>34. インターネットを用いた評価システム</b>	1. 有（ ・EPOC ・その他（      ） ）    0. 無	
<b>35. 研修開始時期</b> <small>（基幹型、地域密着型記入）</small>	西暦 2025 年 4 月 1 日	
<b>36. 研修医の処遇</b> <small>（基幹型・協力型記入）</small>	<b>処遇の適用</b> <small>（基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。）</small>	1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 2. 病院独自の処遇とする。
<b>常勤・非常勤の別</b>	1. 常勤    2. 非常勤	
<b>研修手当</b>	一年次の支給額（税込み） 基本手当／月（ 286,288 円） 賞与／年（ 856,001 円）	二年次の支給額（税込み） 基本手当／月（ 308,328 円） 賞与／年（ 1,418,309 円）
<b>勤務時間</b>	時間外手当： 1. 有    0. 無 休日手当： 1. 有    0. 無 基本的な勤務時間（ 8：45～17：15 ）24時間表記 休憩時間（ 12：00～12：45 ） 時間外勤務の有無： 1. 有    0. 無	
<b>休暇</b>	有給休暇（1年次： 13 日、2年次： 14 日） 夏季休暇（ 1. 有    0. 無） 年末年始（ 1. 有    0. 無） その他休暇（具体的に： ）	
<b>当直</b>	回数（約 5 回／月）	
<b>研修医の宿舎（再掲）</b>	1. 有（単身用： 8 戸、世帯用：      戸） 0. 無（住宅手当：      円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。	
<b>研修医室（再掲）</b>	1. 有（      室）    0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。	
<b>社会保険・労働保険</b>	公的医療保険（      共済組合      ） 公的年金保険（      共済組合      ） 労働者災害補償保険法の適用（ 1年目 有 ）、 国家・地方公務員災害補償法の適用（ 2年目 有 ） 雇用保険（ 入職6か月 有 ）	

## 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号： 030518                      臨床研修病院の名称： 市立岸和田市民病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） (基幹型・協力型記入)	健康管理	健康診断（年 2 回） その他（具体的に 人間ドック受診補助あり ）
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入 (1. する 0. しない) 個人加入 (1. 強制 0. 任意)
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加： 1. 可 0. 否
		学会、研究会等への参加費用支給の有無： 1. 有 0. 無
	院内保育所（再掲）	院内保育所の有無 (1. 有 0. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください（ 7 時 30 分 ～ 20 時 00 分）
		病児保育 (1. 有 0. 無)
		夜間保育 (1. 有 0. 無)
		上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (1. 可 0. 不可)
	保育補助（再掲）	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1. 有 0. 無)
		その他の補助（具体的に： ）
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）	休憩場所 (1. 有 0. 無) 授乳スペース (1. 有 0. 無)
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）	( )
研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）	1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入( ) 窓口の専任担当 1. 有 ( 名) 0. 無	
各種ハラスメントの相談窓口（再掲）	窓口の名称を記入（ 医療安全管理室 事務局経営管理課 ） 窓口の専任担当 1. 有 ( 1 名) 0. 無	
37. 研修医手帳（基幹型記入）	1. 有 0. 無	
38. 連携状況（基幹型記入）	* 様式 A-6 に記入	

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているため、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 (基幹型・協力型記入)と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院の全ての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から26までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号27から37までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。

11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。

12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成する全ての臨床研修病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。

13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。

14 「医師(研修医を含む。)の員数」欄について

(1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号)に基づき、当該病院に勤務する医師(研修医を含む。)について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。

(2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間の全てを勤務する者をいうものであること。

(3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数 (小数第二位を四捨五入)}$$

(4)「計(常勤換算)」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。

(5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること(患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。)

※ 算出式

$$\left[ \frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)}}{3} + \frac{\text{外来患者数(精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。)}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数} - 52}{5} \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

(6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っている全ての研修医の氏名等について、様式A-3に記入すること(歯科医師は記入しない。)

15 「救急医療の提供の実績」欄について

(1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。

(2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。

(3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。

(4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、全ての件数)、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。

(5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。

(6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。

(7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。

16 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。

17 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、入院患者・外来患者の数においては、年次報告、研修プログラム変更・新設届出共に提出の前年度の実績を記入すること。研修医の数においては、年次報告では提出年度の前年度の実績と当該年度の想定を別葉にて記入し、研修プログラム変更・新設届出では、提出年度の次年度及び次々年度の想定を別葉にて記入すること。

17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日0時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会（CPC）の実施状況」欄について
- （1）「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入すること。
  - （2）「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
  - （3）「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「（ ）大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「（ ）病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- （1）「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること。）。
  - （2）「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- （1）「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
  - （2）「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- （1）「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
  - （2）「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- （1）「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
  - （2）「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
  - （3）「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合には「0. 無」に○をつけること。
- 24 「現に受け入れている研修医数」欄は、当該病院で実際に研修した全ての研修医数を記入すること。基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院である場合は、協力型として受け入れた研修医も合計すること。基幹型臨床研修病院として管理している研修医が、協力型臨床研修病院で1年間研修を行い、基幹型臨床研修病院である当該病院で研修を行わない場合は、数に含まないこと。
- 25 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。
- 28 「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、
- （1）「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「1. 有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「0. 無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもにも使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「1. 可」に○をし、預けることができない場合は「0. 不可」に○をすること。
  - （2）「保育補助」欄は、ベビーシッター・一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
  - （3）「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。
  - （4）「その他育児関連施設・取組」欄は、上記（1）～（3）に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
  - （5）「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。「1. 有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
  - （6）「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- 29 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 30 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。

31 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。

32 「研修医の募集及び採用の方法」欄について

(1)「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。

(2)「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類全てに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

(3)「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するもの全てに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

(4)「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。

(5)「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。

33 「研修医の処遇」欄について

(1)「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。

(2)「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。

(3)「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。

(4)「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。

(5)「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。

(6)「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。

(7)「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。

(8)「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。

(9)「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

## 7. 病院群の構成等

様式 A-10別表

基幹型又は地域密着型臨床研修病院の名称（所在都道府県）： ( 大阪府 )

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
大阪府	泉州	市立岸和田市民病院 (病院施設番号:030518 )		大阪	泉州		医療法人桐葉会 木島病院 (病院施設番号:031775)		大阪	泉州		医療法人出水クリニック (病院施設番号:056362 )		市立岸和田市民病院臨床研修プログラム	4
				大阪	泉州		りんくう総合医療センター (病院施設番号:030519)		大阪	泉州		医療法人良秀会藤井病院 (病院施設番号:096963 )			
				大阪	泉州		医療法人爽神堂 七山病院 (病院施設番号:066106)		大阪	泉州		医療法人吉栄会吉川病院 (病院施設番号:096965 )			
				大阪	大阪市		大阪公立大学医学部附属病院 (病院施設番号:030512)		大阪	泉州		社会医療法人慈薫会河崎病院 (病院施設番号:137111 )			
							(病院施設番号: )					医療法人晋教館 和田病院			
							(病院施設番号: )					医療法人阪南会 天の川病院			
							(病院施設番号: )					(病院施設番号: )			
							(病院施設番号: )					(病院施設番号: )			
							(病院施設番号: )					(病院施設番号: )			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成する全ての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか、以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係る全ての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む。）を「研修プログラム」欄に記入すること。

## 6. 研修管理委員会 (令和6年度開催回数12回)

様式A-10別紙1

構成員の氏名等

病院施設番号： 030518

臨床研修病院の名称：

市立岸和田市民病院

No.1

氏名		所属	役職	備考
フリガナ 姓	タカハシ 高橋	ケンイチ 憲一	市立岸和田市民病院	医療局長 呼吸器内科部長 プログラム責任者 研修管理委員長 指導医
フリガナ 姓	ヨコミセ 横見瀬	ヒロヤス 裕保	市立岸和田市民病院	院長 指導医
フリガナ 姓	オノエ 尾上	マサヒコ 雅彦	市立岸和田市民病院	顧問
フリガナ 姓	ウヤマ 宇山	ナオキ 直樹	市立岸和田市民病院	外科・消化器外科部長 指導医
フリガナ 姓	シオジ 塩路	ケイスケ 圭介	市立岸和田市民病院	循環器内科部長 指導医
フリガナ 姓	フクナガ 福永	トヨカズ 豊和	市立岸和田市民病院	消化器内科部長 指導医
フリガナ 姓	ハナオカ 花岡	イクコ 郁子	市立岸和田市民病院	代謝・内分泌内科部長 指導医
フリガナ 姓	オザキ 尾崎	トモヒロ 智博	市立岸和田市民病院	腫瘍内科部長
フリガナ 姓	イノウエ 井上	ヒロアキ 宏昭	市立岸和田市民病院	血液内科部長 指導医
フリガナ 姓	ヤマモト 山本	アツヒロ 敦弘	市立岸和田市民病院	リウマチ・膠原病内科部長
フリガナ 姓	シミズ 清水	ヨウコ 葉子	市立岸和田市民病院	腎臓内科部長代行
フリガナ 姓	シバ 芝	セイジ 誠次	市立岸和田市民病院	救急科部長 指導医

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び指導医については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 6. 研修管理委員会 (令和6年度開催回数12回)

様式A-10別紙1

構成員の氏名等

病院施設番号： 030518

臨床研修病院の名称：

市立岸和田市民病院

No.2

氏名		所属	役職	備考	
フリガナ 姓	タニモト 谷本	名 ケイジ 圭司	市立岸和田市民病院	麻酔科部長	指導医
フリガナ 姓	カワカミ 川上	名 オサム 理	市立岸和田市民病院	脳神経外科部長	指導医
フリガナ 姓	マツモト 松本	名 ヨシナリ 佳也	市立岸和田市民病院	産婦人科部長	指導医
フリガナ 姓	カワサキ 川崎	名 ヒデフミ 英史	市立岸和田市民病院	小児科部長	指導医
フリガナ 姓	イノウエ 井上	名 ミサ 美紗	市立岸和田市民病院	主任薬剤師	
フリガナ 姓	ババ 馬場	名 トモコ 友子	市立岸和田市民病院	副看護局長	
フリガナ 姓	ネゴロ 根来	名 レミ 礼美	市立岸和田市民病院	看護師長	
フリガナ 姓	フジワラ 藤原	名 シゲル 林	市立岸和田市民病院	事務局長	
フリガナ 姓	ナカヤマ 中山	名 コウヘイ 洪平	市立岸和田市民病院	事務局人事・給与担当長	
フリガナ 姓	オオツカ 大塚	名 しほ	市立岸和田市民病院	事務局会計年度任用職員	
フリガナ 姓	タカセ 高瀬	名 カツノリ 勝教	医療法人桐葉会 木島病院	院長	研修実施責任者及び指導医

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び指導医については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 6. 研修管理委員会 (令和6年度開催回数12回)

様式A-10別紙1

構成員の氏名等

病院施設番号： 030518

臨床研修病院の名称：

市立岸和田市民病院

No.3

氏名		所属	役職	備考	
フリガナ 姓	ヤマト 倭	名 マサヤ 正也	りんくう総合医療センター	診療局次長兼内科統括兼総合内科・感染症 内科主任部長兼感染症センター長兼臨床研 修センター長兼院内感染対策室長兼産業医	研修実施責任者及び指導医
フリガナ 姓	ナガノ 永野	名 タツシ 龍司	医療法人爽神堂 七山病院	院長	研修実施責任者及び指導医
フリガナ 姓	ミノバタ 溝端	名 ヤスミツ 康光	大阪公立大学医学部附属病院	教授	研修実施責任者及び指導医
フリガナ 姓	デミス 出水	名 アキラ 明	医療法人出水クリニック	院長	研修実施責任者及び指導医
フリガナ 姓	ネギ 根木	名 シゲオ 茂雄	医療法人良秀会藤井病院	院長	研修実施責任者及び指導医
フリガナ 姓	イマニシ 今西	名 ユキヒト 幸仁	医療法人吉栄会吉川病院	院長	研修実施責任者及び指導医
フリガナ 姓	カワサキ 河崎	名 アツシ 敦	社会医療法人慈薫会河崎病院	院長	研修実施責任者及び指導医
フリガナ 姓	ワダ 和田	名 ノゾミ 希美	医療法人晋救館 和田病院	理事長	研修実施責任者
フリガナ 姓	ハラダ 原田	名 トミカ 富嘉	医療法人阪南会 天の川病院	副院長	研修実施責任者及び指導医
フリガナ 姓	ヨネモト 米本	名 シゲオ 重夫	よねもと診療所	院長	外部委員

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び指導医については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

12.診療科ごとの研修医の数

(令和 6 年度)							臨床研修病院の名称:市立岸和田市民病院							
							病院施設番号:030518							
基幹型病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	11～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
市立岸和田市民病院	内科	3	4	3	3	2	3	2	2	2	2	2	2	2
市立岸和田市民病院	外科	1		1					1	1	1			
市立岸和田市民病院	救急部門	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
市立岸和田市民病院	麻酔科				1	1		1				1		1
市立岸和田市民病院	小児科		1					1	1					
市立岸和田市民病院	産婦人科		1			1	1							
和歌山県立医科大学	内科					1	1				1		1	

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数(研修期間4週について1人とすること)を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12.診療科ごとの研修医の数

(令和 7 年度)		臨床研修病院の名称:市立岸和田市民病院													
		病院施設番号:030518													
基幹型病院名	担当分野	1~4週	5~8週	9~12週	11~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週	
市立岸和田市民病院	内科	4	4	3	3	4	3	2	3	3	2	4	4	3	
市立岸和田市民病院	外科	1	1	1	0		1	1	1	1	1				
市立岸和田市民病院	救急部門	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	
市立岸和田市民病院	麻酔科				1	1		1			1			1	
市立岸和田市民病院	小児科		1		1	1		1	1	1					
市立岸和田市民病院	産婦人科	1		1	1	1		1		1					
和歌山県立医科大学	内科			1						1	1	1			

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数(研修期間4週について1人とすること)を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：市立岸和田市民病院  
 病院施設番号：030518

区 分	内 科	救 急 部 門	外 科	麻 酔 科 ( 部 門 )	小 児 科	産 婦 人 科	又は		精 神 科	その他の研修を行う診療科						合 計
							産 科	婦 人 科		総 合 内 科	神 経 内 科	乳 腺 外 科	整 形 外 科	耳 鼻 咽 喉 科	眼 科	
年間入院患者実数 ( ) 内は救急件数又は分娩件数	4,171	467 (11787)	1,040	0	356	555 (153)			0	0	0	140	537	692	45	7,863
年間新外来患者数	4,495	4,883	503	4	1,727	672			18	42	81	163	473	1,453	179	14,693
1日平均外来患者数 ( ) 内は年間外来診療日数	369.7 (243)	30.3 (365)	43.5 (243)	0 (243)	38.0 (243)	36.7 (243)			0.2 (243)	0.7 (243)	6.8 (243)	15.8 (243)	41.8 (243)	55.9 (243)	21.3 (243)	
平均在院日数	13.2	2.4	14.2	0.0	3.8	6.4			0.0	14.7	0.0	7.1	15.3	7.0	1.2	
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	36 (14)	2 (2)	9 (5)	6 (2)	4 (3)	5 (2)			0	0	0	2 (1)	5	4	2	75 (29)

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

12. 診療科ごとの入院患者 12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：市立岸和田市民病院  
 病院施設番号：030518

区 分	その他の研修を行う診療科																	合 計
	皮膚科	泌尿器科	形成外科	放射線科	放射線科	病理診断科	心臓血管外科	(内科内数) 内分泌・代謝科内	(内科内数) 血液内科	(内科内数) リウマチ科	(内科内数) 腫瘍内科	(内科内数) 消化器内科	(内科内数) 循環器内科	(内科内数) 呼吸器内科	(内科内数) 緩和ケア内科	(外科内数) 消化器外科	(外科内数) 脳神経外科	
年間入院患者実数 ( ) 内は救急件数又は分娩件数	7	399	118	0	0	0	233	81	336	114	364	977	981	1,256	62	641	399	8,620
年間新外来患者数	672	475	713	1,383	19	0	152	383	183	333	49	1,368	1,047	1,086	46	245	258	18,107
1日平均外来患者数 ( ) 内は年間外来診療日数	34.8 (243)	55.0 (243)	22.2 (243)	7.9 (243)	12.0 (243)	0.0 (0)	10.5 (243)	38.8 (243)	36.6 (243)	44.6 (243)	43.0 (243)	66.4 (243)	65.4 (243)	73.6 (243)	1.3 (243)	24.9 (243)	18.6 (243)	
平均在院日数	3.6	8.4	13.4	0.0	0.0	0.0	18.0	12.3	15.5	18.4	13.2	10.5	9.2	13	25.1	12.7	13.8	
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	2	3 (1)	2 (1)	3 (1)	2	2 (1)	3 (2)	5 (1)	2 (1)	3 (1)	4	7 (4)	6 (1)	10 (5)	2 (1)	6 (3)	3 (2)	92 (35)

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

## 25. 研修プログラムの名称及び概要

様式 A-10 別紙 3

プログラム番号： 030518609

病院施設番号： 030518 臨床研修病院の名称： 市立岸和田市民病院

臨床研修病院群番号： 0305186 臨床研修病院群名： 市立岸和田市民病院臨床研修プログラム

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	市立岸和田市民病院臨床研修プログラム				
2. 研修プログラムの特色	研修医の定員を少なくすることにより密度の高い指導を目指していること。選択科目としてほとんどの臨床科の選択が可能であり、研修医が全スタッフの多様な連携のもとにチーム医療が実践できること。				
3. 臨床研修の目標の概要	<p>第1 医師として、病める人の尊厳を守り、医療の提供と公衆衛生の向上に寄与する職業の重大性を深く認識すること</p> <p>第2 医師の行動を決定づける基本的価値観（プロフェッショナリズム）及び医師としての使命の遂行に必要な資質・能力を身につけること</p> <p>第3 医師としての基盤形成の段階にある研修医が、基本的価値観を自らのものとし、基本的診療業務ができるレベルの資質・能力を習得すること</p>				
4. 研修期間	（ 2 ）年 （原則として、「2年」と記入してください。）				
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。				
5. 臨床研修を行う分野	<p>研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）</p> <p>* 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。</p> <p>* 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。</p> <p>* 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。</p>				
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週	
必修科目・分野	内科	030518 市立岸和田市民病院	30週	0~2週	
	救急部門	030518 市立岸和田市民病院	12週		
		030519 りんくう総合医療センター 030542 大阪公立大学医学部附属病院			
	地域医療	056362 医療法人 出水クリニック 096963 医療法人良秀会 藤井病院 096965 医療法人吉栄会 吉川病院 137111 医療法人慈薫会 河崎病院 医療法人晋救館 和田病院 医療法人阪南会 天の川病院	4週	一般外来 1週から3週 在宅診療0.4週	
		外科	030518 市立岸和田市民病院	7週	0.5週
		小児科	030518 市立岸和田市民病院	4週	4週
		産婦人科	030518 市立岸和田市民病院	4週	
	精神科	031775 医療法人桐葉会 木島病院 066106 医療法人爽神堂 七山病院	4週		
		一般外来		週	
	病院で 定めた 必修 科目	030518 市立岸和田市民病院	8週	週	
			週		
			週		

選択 科目	循環器内科				
	呼吸器内科				
	消化器内科				
	代謝内分泌内科				
	緩和ケア内科				
	腫瘍内科				
	血液内科				
	リウマチ・膠原病 内科				
	小児科				
	外科				
	整形外科				
	脳神経外科	030518	市立岸和田市民病院		
	心臓血管外科	030519	りんくう総合医療センター	<u>31週</u>	<u>0～2週</u>
	泌尿器科	030542	大阪公立大学医学部附属病院		
	耳鼻咽喉科				
	形成外科				
	救急科				
	麻酔科				
	放射線科				
	放射線治療科				
乳腺外科					
病理診断科					
皮膚科					
眼科					
産婦人科					
呼吸器外科					

備考：

救急研修において 12 週間は自病院で研修をおこない、2 年目で大阪公立大学医学部附属病院、りんくう総合医療センターでの研修も選択可能。

2 年を通じて救急休日・夜間当直を行う。

1 年目研修の 1 週間目はオリエンテーション期間とする。

年末年始及びゴールデンウイーク中の診療科は期間を 1 週間延長する。

(オリエンテーション、長期休暇による延長により研修期間が不足する場合は選択科目研修期間で調整する)

一般外来の研修を行う診療科 小児科、地域医療、内科、外科で合計 6 週間

在宅診療は出水クリニック、藤井病院、河崎病院、和田病院、天の川病院で履修する。



プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号	病院施設番号： 030518	臨床研修病院の名称： 市立岸和田市民病院
は、既に取得されている場合に記入してください。	臨床研修病院群番号：	臨床研修病院群名：市立岸和田市民病院群

6. 研修スケジュール（一年次  二年次  いずれかに○） プログラム番号 030518606

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。\*1 (No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野 *2	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	13~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週	
木島病院 (031775)	精神科			1 1	1 1	1 1	1 1			1 1	1 1		1 1	1 1	
七山病院 (066106)															
市立岸和田市民病院 (030518)	救急部門	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
りんくう総合医療センター (030519)															
大阪公立大学医学部附属病院															
出水クリニック (056362)	地域医療														
藤井病院 (096963)															
吉川病院 (096965)						1 1		1 1	1 1	2 2		1 1	1 1	1 1	
河崎病院 (137111)															
和田病院															
天の川病院															
市立岸和田市民病院	産婦人科	1	1	1	1		1 1	1 1			1 1	1 1	1 1	1 1	
市立岸和田市民病院	小児科		1	1	1	1		1 1	1 1		1 1	1 1			
市立岸和田市民病院	麻酔科	1	1	1	1	1				1 1	1 1				
市立岸和田市民病院 (030518)	選択科目														
木島病院 (031775)															
りんくう総合医療センター (030519)		1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	2	2	1	1
大阪公立大学医学部附属病院															
七山病院 (066106)															

\*1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

\*2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

\*3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 030518 臨床研修病院の名称：市立岸和田市民病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経 験年 数	指導医講習会等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番 号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
内科	花岡 郁子	市立岸和田市民病院	部長	37	○	日本糖尿病学会専門医 日本糖尿病学会研修指導医 日本内分泌学会内分泌代謝科(内科)専門医 日本内分泌学会内分泌代謝科指導医 日本肥満学会肥満症指導医 日本肥満学会肥満症専門医 日本内科学会近畿支部評議員 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本糖尿病協会療養指導医 日本内分泌学会評議員 京都大学医学部附属病院臨床研修指導医講習会修了 日本糖尿病学会学術評議員 内分泌代謝・糖尿病内科領域研修指導医	030518609	4
内科	山下 貴史	市立岸和田市民病院	医長	16	×	日本糖尿病学会専門医 日本内分泌学会内分泌代謝科指導医 日本内分泌学会内分泌代謝科(内科)専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会認定内科医 内分泌代謝・糖尿病内科領域研修指導医	030518609	
内科	井上 宏昭	市立岸和田市民病院	部長	17	○	日本内科学会認定内科医 日本血液学会血液専門医 日本内科学会総合内科専門医 緩和ケア研修会修了 近畿大学ワークショップ臨床研修指導医講習会修了	030518609	4
内科	岩田 吉生	市立岸和田市民病院	医長	13	×	日本内科学会認定内科医 緩和ケア研修会修了 日本血液学会血液専門医	030518609	
内科	山本 敦弘	市立岸和田市民病院	部長	12	×	緩和ケア研修会修了	030518609	
内科	芦田 千聖	市立岸和田市民病院	医長	12	○	緩和ケア研修会修了 近畿大学ワークショップ臨床研修指導医講習会修了 日本内科学会認定内科医 日本リウマチ学会リウマチ専門医	030518609	4

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 030518 臨床研修病院の名称：市立岸和田市民病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
内科	尾崎 智博	市立岸和田市民病院	部長	25	×	緩和ケア研修会修了	030518609	
内科	野長瀬 祥兼	市立岸和田市民病院	医長	14	×	日本内科学会認定内科医 日本臨床腫瘍学会がん薬物療法指導医 日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医	030518609	
内科	中山 智裕	市立岸和田市民病院	医長	9	×	緩和ケア研修会修了	030518609	
内科	山東 剛裕	市立岸和田市民病院	部長	37	○	日本肝臓学会肝臓専門医 日本肝臓学会肝臓指導医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 緩和ケア研修会修了 総合診療専門研修特任指導医 地域医療機能推進機構主催看護師特定行為研修指導者講習会受講修了 プログラム責任者養成講習会修了 近畿ブロック臨床研修指導医講習会修了 日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医 日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医 大阪府肝炎医療コーディネーター認定 日本消化器病学会近畿支部評議員 特任指導医講習会e-ラーニング研修修了 日本消化器内視鏡学会近畿セミナー受講修了 日本専門医機構プログラム統括責任者講習会参加	030518609	4
内科	高谷 晴夫	市立岸和田市民病院	主任医長	37	○	日本消化器病学会消化器病専門医 緩和ケア研修会修了 京都大学医学部附属病院臨床研修指導医講習会修了	305186093	4

## 3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 030518 臨床研修病院の名称：市立岸和田市民病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経 験年 数	指導医講習会等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番 号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
内科	福永 豊和	市立岸和田市民病院	部長	33	○	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器病学会指導医 日本超音波医学会超音波専門医 日本超音波医学会超音波指導医 日本肝臓学会肝臓専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本肝臓学会肝臓指導医 緩和ケア研修会修了 近畿大学医学部附属病院臨床研修指導医講習会修了	030518609	4
内科	田中 裕一	市立岸和田市民病院	主任医長	28	×	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器病学会指導医 日本肝臓学会肝臓専門医 日本肝臓学会肝臓指導医 緩和ケア研修会修了 身体障害者福祉法指定医(肝臓) 大阪府肝炎医療コーディネーター認定	030518609	
内科	宮島 真治	市立岸和田市民病院	主任医長	32	○	日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器病学会指導医 日本肝臓学会肝臓専門医 天理よろず相談所病院臨床研修指導医講習会修了 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本胆道学会認定指導医 日本超音波医学会超音波専門医	030518609	4

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 030518 臨床研修病院の名称：市立岸和田市民病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
内科	塩路 圭介	市立岸和田市民病院	部長	30	○	日本心血管インターベンション治療学会認定医 (CVIT) 日本心血管インターベンション治療学会専門医 (CVIT) 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会認定内科医 日本循環器学会循環器専門医 「橋込み型除細動器・ペースングによる心不全治療」研修修了(=「ICD/CRT研修修了登録医」) かかりつけ医認知症対応向上研修修了 京都大学医学部附属病院臨床研修指導医講習会修了 日本不整脈心電学会認定不整脈専門医 SATAKE・HotBalloonカテーテルプロクター認定 リードスペースメーカー講習会修了 HeartLight Mastery Course(内視鏡アブレーションシステム)研修プログラム修了証 クライオバルーン認定医 プログラム責任者養成講習会修了	030518609	4
内科	岩室 あゆみ	市立岸和田市民病院	主任医長	33	×	日本循環器学会循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会認定内科医 日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション指導士認定 日本心血管インターベンション治療学会認定医 (CVIT) 日本リハビリテーション医学会認定臨床医 日本心エコー図学会「SHD心エコー図認証医」	030518609	
内科	出原 正康	市立岸和田市民病院	主任医長	21	×	日本循環器学会循環器専門医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 「橋込み型除細動器・ペースングによる心不全治療」研修修了(=「ICD/CRT研修修了登録医」) 緩和ケア研修会修了 日本救急医学会認定ICLS・BLSコースディレクター 日本心血管インターベンション治療学会認定医 (CVIT) 浅大腿動脈ステントグラフト実施医 JMECCインストラクター	030518609	
内科	河合 喬文	市立岸和田市民病院	医長	17	×	日本循環器学会循環器専門医 日本内科学会認定内科医	030518609	
内科	笹 智樹	市立岸和田市民病院	医長	14	×		030518609	

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 030518 臨床研修病院の名称：市立岸和田市民病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
内科	高橋 憲一	市立岸和田市民病院	部長	31	○	滋賀県病院協会臨床研修指導医講習会修了 日本静脈経腸栄養学会近畿地区TNT研修会修了 緩和ケア研修会修了 プログラム責任者養成講習会修了	030518609	1,3,4
内科	山中 秀樹	市立岸和田市民病院	主任医長	34	○	日本外科学会外科専門医 呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 日本呼吸器学会呼吸器専門医 独協医科大学病院臨床研修指導医養成講習会修了 緩和ケア研修会修了	030518609	4
内科	岩嶋 大介	市立岸和田市民病院	主任医長	25	○	日本呼吸器学会呼吸器専門医 日本呼吸器学会指導医 日本救急医学会救急科専門医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本結核病学会結核・抗酸菌症指導医 緩和ケア研修会修了 全国自治体病院協議会臨床研修指導医講習会修了 ICD認定	030518609	4
内科	西 健太	市立岸和田市民病院	医長	12	×	日本内科学会総合内科専門医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 日本内科学会認定内科医 日本呼吸器学会呼吸器専門医 一般社団法人日本アレルギー学会専門医 緩和ケア研修会修了	030518609	
内科	岡森 仁臣	市立岸和田市民病院	医長	10	×	日本内科学会認定内科医 緩和ケア研修会修了	030518609	

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 030518 臨床研修病院の名称：市立岸和田市民病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
内科	川島 正裕	市立岸和田市民病院	部長	36	○	日本呼吸器外科学会指導医	030518609	4
						日本胸部外科学会認定医		
						日本外科学会認定登録医		
						日本外科学会認定医		
						日本緩和医療学会緩和医療認定医		
						緩和ケア研修会修了		
						全国自治体病院協議会臨床研修指導医講習会修了		
内科	吉藤 正泰	市立岸和田市民病院	医長	12	×	日本麻酔科学会麻酔科専門医	030518609	
						麻酔科標榜医		
						緩和ケア研修会修了		
内科	清水 葉子	市立岸和田市民病院	医長	15	×	日本内科学会認定内科医	030518609	
						日本内科学会総合内科専門医		
						日本腎臓学会腎臓専門医		
						日本透析医学会透析専門医		
救急部門	芝 誠次	市立岸和田市民病院	部長	30	○	東海北陸臨床研修指導医講習会修了	030518609	4
						日本救急医学会救急科専門医		
救急部門	北山 淳一	市立岸和田市民病院	主任医長	22	○	日本専門医機構認定救急科専門医 日本リハビリテーション医学会認定臨床医 和歌山県立医科大学臨床研修指導医講習会修了	030518609	4
外科	宇山 直樹	市立岸和田市民病院	部長	32	○	日本外科学会指導医	030518609	4
						日本外科学会外科専門医		
						日本消化器外科学会指導医		
						日本消化器外科学会消化器外科専門医		
						日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医		
						日本肝胆膵外科学会認定肝胆膵外科高度技能専門医		
						日本肝臓学会肝臓指導医		
						日本肝臓学会肝臓専門医		
						兵庫医科大学病院臨床研修指導医講習会修了		
						日本胆道学会認定指導医		
						緩和ケア研修会修了		
						日本膵臓学会認定指導医		
						プログラム責任者養成講習会修了		
大阪府肝炎医療コーディネーター認定								

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 030518 臨床研修病院の名称：市立岸和田市民病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
外科	高木 秀和	市立岸和田市民病院	主任医長	26	×	日本外科学会外科専門医 緩和ケア研修会修了	030518609	
外科	和田 聡朗	市立岸和田市民病院	主任医長	23	○	日本外科学会外科専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会消化器外科専門医 日本内視鏡外科学会技術認定(消化器・一般外科) 京都大学医学部附属病院臨床研修指導医のワークショップ修了 Robo-Doc Pilot認定 国内B級 ダヴィンチトレーニングファーストアシスタント証明書 日本消化管学会胃腸科認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 緩和ケア研修会修了	030518609	4
外科	中右 雅之	市立岸和田市民病院	主任医長	33	○	日本外科学会指導医 日本消化器外科学会消化器外科専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本外科学会外科専門医 緩和ケア研修会修了 緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会 京都大学医学部附属病院臨床研修指導医のワークショップ修了 四段階注射法(ジオン注)講習会受講 「がんのリハビリテーション研修」課程修了 ダヴィンチ執刀医資格 手術支援ロボット操作資格 日本DMAT隊員登録証	030518609	4

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 030518 臨床研修病院の名称：市立岸和田市民病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経 験年 数	指導医講習会等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番 号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
外科	川上 理	市立岸和田市民病院	部長	30	○	日本脳神経外科学会専門医 日本脳神経血管内治療学会専門医 日本神経内視鏡学会技術認定医 日本脳卒中学会脳卒中指導医 日本脳卒中学会脳卒中専門医 日本脳卒中外科学会技術指導医 日本脊髄外科学会認定医 脊椎脊髄外科専門医 日本脳卒中学会脳梗塞rt-PA適正使用講習会受講 緩和ケア研修会修了 医療安全管理者養成研修受講修了 全国自治体病院協議会臨床研修指導医講習会修了	030518609	4
外科	川端 康弘	市立岸和田市民病院	主任医長	28	○	近畿ブロック大阪医療センター臨床研修指導医講習会修了 日本脳神経外科学会専門医 日本脳神経外科学会指導医 日本脳神経血管内治療学会専門医 日本脳卒中学会脳卒中専門医 日本脳卒中学会脳卒中指導医 日本脳卒中学会脳梗塞rt-PA適正使用講習会受講 緩和ケア研修会修了 日本脳卒中学会承認「脳卒中相談支援講習会」受講 マイクロソフィア講習会エンボスフィア（脳神経領域）修了 ビー・ブラウンエースクラップラニングにおいて脳血管領域（脳脊髄/頭頸部）修了 日本脳卒中学会脳卒中相談窓口多職種講習会受講 OPTUNE Certificate of Completion(腫瘍治療電波療法講習修了)	030518609	4
外科	梶原 基弘	市立岸和田市民病院	主任医長	27	×	日本脳神経外科学会脳神経外科専門医 日本脳卒中学会脳梗塞rt-PA適正使用講習会受講 認知症サポート医養成研修修了	030518609	
麻酔科	谷本 圭司	市立岸和田市民病院	部長	30	○	京都大学医学部附属病院臨床研修指導医講習会修了 麻酔科標榜医 日本麻酔科学会麻酔科指導医・専門医 日本集中治療医学会集中治療専門医 緩和ケア研修会修了	030518609	4

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 030518 臨床研修病院の名称：市立岸和田市民病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
麻酔科	東 恵理子	市立岸和田市民病院	医長	19	×	麻酔科標榜医 日本麻酔科学会認定麻酔科専門医 緩和ケア研修会修了	030518609	
麻酔科	黄 輝広	市立岸和田市民病院	医長	15	×	日本麻酔科学会麻酔科指導医 麻酔科標榜医 日本麻酔科学会認定認定麻酔科専門医 緩和ケア研修会修了 日本救急医学会認定ICLS・BLSコースディレクター	030518609	
麻酔科	上田 圭	市立岸和田市民病院	医長	8	×	麻酔科標榜医 緩和ケア研修会修了 日本麻酔科学会認定麻酔科専門医	030518609	
麻酔科	井上 麻意子	市立岸和田市民病院	主任医長	27	○	日本麻酔科学会麻酔科指導医 日本麻酔科学会麻酔科専門医 大阪地区京大関連病院指導医講習会修了 緩和ケア研修会修了 麻酔科標榜医	030518609	4
小児科 (一般外来)	川崎 英史	市立岸和田市民病院	部長	19	○	日本小児科学会小児科専門医・指導医 日本アレルギー学会アレルギー専門医 京都大学医学部附属病院臨床研修指導医講習会修了	030518609	4
小児科 (一般外来)	黒川 智子	市立岸和田市民病院	医長	15	○	日本小児科学会小児科専門医 日本小児科学会出生前コンサルト小児科医 大阪府発達障がい専門医師養成研修修了 日本小児精神神経学会認定医 子どものこころ専門医機構認定子どものこころ専門医 子どものこころ専門医機構認定子どものこころ指導医 インфекションコントロールドクター(ICD) 全国自治体病院協議会臨床研修指導医講習会修了 特別支援教育士[S.E.N.S]資格	030518609	4

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 030518 臨床研修病院の名称：市立岸和田市民病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経 験年 数	指導医講習会等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番 号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
小児科 (一般外来)	井手 見名子	市立岸和田市民病院	主任医長	21	○	日本小児科学会小児科指導医 日本小児科学会小児科専門医 日本小児神経学会小児神経専門医 福井大学病院臨床研修指導医講習会修了 日本小児科学会出生前コンサルト小児科医	030518609	4
選択科 (整形外科)	松下 哲尚	市立岸和田市民病院	部長	27	×	日本整形外科学会整形外科専門医 日本整形外科学会スポーツ医 日本リウマチ学会リウマチ指導医 日本リウマチ学会リウマチ専門医 日本骨・関節感染症学会(ICD)認定 日本人工関節学会認定医	030518609	
選択科 (整形外科)	上田 晃久	市立岸和田市民病院	主任医長	24	×	日本整形外科学会整形外科専門医	030518609	
選択科 (整形外科)	岡 尚宏	市立岸和田市民病院	医長	12	×	日本整形外科学会整形外科専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 緩和ケア研修会修了	030518609	
産婦人科	松本 佳也	市立岸和田市民病院	部長	32	○	大阪府医師会ワークショップ臨床研修指導医講習会修了 緩和ケア研修会修了 日本産科婦人科学会産婦人科専門医 日本産科婦人科学会産婦人科指導医 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 OSCE評価者認定講習会修了 日本婦人科腫瘍学会専門医制度婦人科腫瘍指導医 日本遺伝性腫瘍学会遺伝性腫瘍専門医 母体保護法指定医 日本人類遺伝学会日本遺伝カウンセリング学会臨床遺伝専門医制度専門医	030518609	4
産婦人科	中川 倫子	市立岸和田市民病院	医長	15	○	緩和ケア研修会修了 日本産科婦人科学会産婦人科指導医 日本産科婦人科学会産婦人科専門医 母体保護法指定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 全国自治体病院協議会臨床研修指導医講習会修了 日本遺伝性腫瘍学会遺伝性腫瘍専門医	030518609	4

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 030518 臨床研修病院の名称：市立岸和田市民病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
産婦人科	札幌 恵	市立岸和田市民病院	医長	14	×	母体保護法指定医 日本女性医学学会認定女性ヘルスケア専門医 日本内視鏡外科学会技術認定(産科婦人科) 日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡の技術認定 日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児) 日本産科婦人科学会産婦人科指導医 日本産科婦人科学会産婦人科専門医 緩和ケア研修会修了 日本思春期学会性教育認定講師(Aコース) 日本思春期学会性教育認定講師(Bコース) 日本女性医学学会女性ヘルスケア暫定指導医 日本スポーツ協会公認スポーツドクター	030518609	
産婦人科	島崎 郁司	市立岸和田市民病院	医長	11	×	緩和ケア研修会修了 日本産婦人科学会産婦人科専門医 日本母体救命システムベーシックコース修了 日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法「専門」コース(Aコース)修了 母体保護法指定医 日本旅行医学会認定医 学会認定・自己血輸血責任医師 JATECコース修了 大阪府肝炎コーディネーター修了 <small>日本産婦人科学会日本産科婦人科学会「JOGa: 胎児性梅毒診断に対する適正なホルモン療法等に係る研修」受講</small> 日本女性医学学会「女性のヘルスケア研修会」受講修了 日本スポーツ協会公認スポーツドクター	030518609	
選択科 (乳腺外科)	吉村 吾郎	市立岸和田市民病院	副院長	40	○	和歌山医師会ワークショップ臨床研修指導医講習会修了 緩和ケア研修会修了 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本乳癌学会乳腺認定医 日本乳癌学会乳腺専門医 日本乳癌学会乳腺指導医 日本外科学会外科専門医 検診マンモグラフィ読影認定医(A) 長時間労働医師への面接指導の実施に係る研修修了 日本外科学会指導医	030518609	4

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 030518 臨床研修病院の名称：市立岸和田市民病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
選択科 (心臓血管外科)	藤井 公輔	市立岸和田市民病院	部長	22	○	日本循環器学会循環器専門医 日本血管外科学会認定血管内治療医 日本外科学会外科専門医 日本外科学会指導医 近畿大学医学部附属病院主催の臨床研修指導者のためのワークショップ修了 心臓血管外科専門医認定機構修練指導者 3学会構成心臓血管外科専門医認定機構心臓血管外科専門医 日本脈管学会研修指導医 日本脈管学会脈管専門医 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による指導医 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施医 浅大腿動脈ステントグラフト実施医 経カテーテル的大動脈弁置換術実施医 腹部ステントグラフト指導医 腹部ステントグラフト実施医 胸部ステントグラフト指導医 胸部ステントグラフト実施医	030518609	4
選択科 (心臓血管外科)	田中 宏衛	市立岸和田市民病院	主任医長	37	○	心臓血管外科専門医認定機構修練指導者 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構心臓血管外科専門医 兵庫医科大学病院臨床研修指導医養成講習会修了 日本外科学会外科専門医 経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVR)指導医 SAPIENシリーズ 経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVR)指導医 Core Valveシリーズ 胸部ステントグラフト指導医 腹部ステントグラフト指導医	030518609	4
内科	横見瀬 裕保	市立岸和田市民病院	院長	44	○	日本外科学会認定医 日本外科学会指導医 日本呼吸器外科学会指導医 日本胸部外科学会認定医 日本胸部外科学会指導医 緩和ケア研修会修了 香川大学医学部附属病院臨床研修指導医講習会修了	30518609	4

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 030518 臨床研修病院の名称：市立岸和田市民病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
内科	松本 和也	市立岸和田市民病院	部長	36	○	日本赤十字社和歌山医療センター臨床研修指導医講習会修了 日本外科学会外科専門医 呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医	030518609	4
選択科 (耳鼻咽喉科)	梶川 泰	市立岸和田市民病院	部長	32	×	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会認定耳鼻咽喉科専門医 日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門研修指導医 日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医制度指導医 日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医 身体障害者指福祉法指定医(聴言) 緩和ケア研修会修了 長時間労働医師への面接指導の実施に係る研修修了 認知症サポート医養成研修修了	030518609	
選択科 (耳鼻咽喉科)	山田 誠二郎	市立岸和田市民病院	医長	15	×	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会耳鼻咽喉科専門医	030518609	
選択科 (耳鼻咽喉科)	赤澤 和之	市立岸和田市民病院	医長	14	×	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会耳鼻咽喉科専門研修指導医 日本めまい平衡医学会認定めまい相談医 厚生労働省主催補聴器適合判定医師研修会修了 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会耳鼻咽喉科専門医 緩和ケア研修会修了	030518609	
選択科 (耳鼻咽喉科)	牧 亮平	市立岸和田市民病院	医長	8	×		030518609	
選択科 (泌尿器科)	児玉 芳季	市立岸和田市民病院	部長	25	○	和歌山県立医科大学附属病院臨床研修指導医講習会修了 緩和ケア研修会修了 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本内視鏡外科学会技術認定(泌尿器腹腔鏡) ダヴィンチ執刀医資格取得 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医 日本泌尿器科学会泌尿器科指導医 日本泌尿器科学会日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定	030518609	4
選択科 (泌尿器科)	松浦 昌三	市立岸和田市民病院	医長	10	×	日本泌尿器科学会泌尿器科専門医 ダヴィンチ執刀医資格取得	030518609	
選択科 (泌尿器科)	鍋島 優太	市立岸和田市民病院	医長	9	×	緩和ケア研修会修了 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医	030518609	

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 030518 臨床研修病院の名称：市立岸和田市民病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
選択科 (放射線科)	魚川 享資	市立岸和田市民病院	部長	35	×	日本医学放射線学会放射線科専門医 日本医学放射線学会放射線診断専門医 日本核医学会PET核医学認定医 日本核医学会核医学専門医	030518609	
選択科 (放射線科)	木寺 英太郎	市立岸和田市民病院	医長	13	×	日本医学放射線学会放射線診断専門医 日本医学放射線学会研修指導者	030518609	
選択科 (放射線科)	藤澤 一郎	市立岸和田市民病院	会計年度	44	○	日本医学放射線学会研修指導者 京都大学医学部附属病院臨床研修指導医講習会修了 日本医学放射線学会放射線診断専門医	030518609	4
選択科 (放射線科)	高橋 駿介	市立岸和田市民病院	医長	10	×	日本医学放射線学会放射線科専門医 緩和ケア研修会修了	030518609	
選択科 (放射線治療科)	小倉 昌和	市立岸和田市民病院	部長	29	×	日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本放射線腫瘍学会および日本医学放射線学会放射線治療専門医 緩和ケア研修会修了	030518609	
選択科 (放射線治療科)	亥埜 亜希	市立岸和田市民病院	医長	8	×	日本医学放射線学会研修指導者認定 日本放射線学会放射線科専門医 緩和ケア研修会修了	030518609	
選択科 (形成外科)	竹本 剛司	市立岸和田市民病院	部長	29	○	関西医科大学附属病院臨床研修指導医講習会修了 日本形成外科学会形成外科専門医 日本形成外科学会皮膚腫瘍外科分野指導医 日本形成外科学会レーザー分野指導医 日本形成外科学会領域指導医 日本レーザー医学会レーザー専門医 日本抗加齢医学会専門医 日本熱傷学会熱傷専門医 日本美容外科学会(JSAPS)教育専門医 日本創傷外科学会専門医 緩和ケア研修会修了 日本フットケア・足病医学会 下肢創傷処置・管理のための講習会修了	030518609	4

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 030518 臨床研修病院の名称：市立岸和田市民病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
選択科 (形成外科)	前川 恭慶	市立岸和田市民病院	医長	9	×	形成外科専門医 日本乳房オンコプラステックサージヤリー学会乳房再建用エキスバンダー/インプラント実施医師 3TO(VHO)ライセンス 日本抗加齢医学会専門医 緩和ケア研修会修了 日本フットケア・足病医学会下肢創傷処置・管理のための講習会受講修了 日本フットケア・足病医学会エビフィックス適正使用講習会修了 産業医科大学産業医学基礎研修会講座修了 AO CMF Course Trauma 証明書 日本医師会認定産業医	030518609	
選択科 (病理診断科)	飯塚 徳重	市立岸和田市民病院	部長	22	○	日本病理学会病理専門医 日本病理学会病理専門医研修指導医 日本臨床細胞学会細胞診専門医 死体解剖資格 奈良県立医科大学臨床教授 全国自治体病院協議会臨床研修指導医講習会修了 日本臨床細胞学会教育研修指導医 緩和ケア研修会修了	030518609	4
選択科 (病理診断科) 病理担当	伊達 恵美	市立岸和田市民病院	医長	11	×	死体解剖資格 日本病理学会病理専門医 日本病理学会病理専門医研修指導医 日本臨床細胞学会細胞診専門医 緩和ケア研修会修了 医療安全管理者養成オンラインセミナー受講	030518609	
選択科 (眼科)	園部 智章	市立岸和田市民病院	部長	12	×	日本眼科学会眼科専門医	030518609	

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 030518 臨床研修病院の名称：市立岸和田市民病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
地域医療	河崎 敦	河崎病院	院長	27	×	日本プライマリーケア連合学会指導医	030518609	3
地域医療	札 琢磨	河崎病院	副院長	24	×	心臓血管外科専門医	030518609	
地域医療	今西 幸仁	吉川病院	院長	30	×	リハビリテーション医学会臨床認定医	030518609	3
地域医療	矢高 勉	吉川病院		42	×	日本整形外科学会専門医	030518609	
地域医療	上垣内 敬	吉川病院	副院長	41	×	日本循環器学会循環器専門医・日本内科学会総合内科専門医・日本心血管インターベンション治療学会認定医	030518609	
地域医療	出水 明	医療法人出水クリニック	院長・理事長	38	×	日本在宅医療連合学会専門医・指導医	030518609	3
地域医療	原田 富嘉	天の川病院	副院長	37	○	日本外科学会専門医	030518609	3,4
地域医療	根木 茂雄	藤井病院	院長	38	×	日本腎臓学会専門医	030518609	3
地域医療	脇田 重明	藤井病院	名誉院長	44	○	日本整形外科学会件数指導者講習日本整形外科学会専門医	030518609	4
地域医療	雑賀 保至	藤井病院	透析センター長	45	×	日本腎臓学会指導医	030518609	
地域医療	刀禰 佳典	藤井病院	透析副センター長	40	×	日本腎臓学会専門医	030518609	
地域医療	園部 美弥彦	藤井病院	透析副センター長	43	×	日本腎臓学会専門医	030518609	
地域医療	奥 憲一	藤井病院	副院長	45	×	日本内科学会認定内科医	030518609	
地域医療	木村 誠志	藤井病院	部長	36	×	日本医学放射線学会専門医	030518609	
地域医療	堀越 正智	藤井病院	副部長	35	○	日本整形外科学会専門医	030518609	4
地域医療	峰 良成	藤井病院	医長	29	×	日本外科学会専門医	030518609	
地域医療	寺杣 晋彦	藤井病院	部長	24	×	日本内科学会認定内科医 日本循環器学会専門医	030518609	
地域医療	山縣 俊之	藤井病院	部長	35	×	日本呼吸器学会専門医	030518609	
地域医療	和田 希美	医療法人晋教館和田病院	理事長	24	×	循環器専門医	030518609	3

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 030518 臨床研修病院の名称：市立岸和田市民病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
地域医療	蘭 広太郎	医療法人晋救館和田病院	院長	30	×		030518609	
地域医療	山内 孝哲	医療法人晋救館和田病院	医師	31	○	糖尿病専門医	030518609	4
救急部門 (内科)	倭 正也	りんくう総合医療センター	診療局次長兼内科統括兼総合内科・感染症内科主任部長兼感染症センター長兼臨床研修センター長兼院内感染対策室長兼産業医	27	○	指導医講習会受講済(H21 兵庫医科大学) プログラム責任者養成講習会受講済(H26年厚生労働省後援臨床研修協議会) 日本透析医学会指導医 日本透析医学会透析専門医 日本腎臓学会専門医 日本腎臓学会認定指導医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会認定内科医 身体障害者(じん臓機能障害)指定医 日本リウマチ学会専門医 日本糖尿病協会登録医	030518609	3
救急部門 選択(麻酔科)	小林 俊司	りんくう総合医療センター	麻酔科部長兼手術センター長	31	○	指導医講習会受講済(H21 全国自治体病院協議会) 日本麻酔科学会指導医 日本麻酔科学会専門医 日本小児麻酔学会小児麻酔認定医	030518609	4
救急部門 選択(麻酔科)	神移 佳	りんくう総合医療センター	麻酔科部長	22	○	日本専門医機構麻酔科専門医 日本麻酔科学会認定医・指導医 日本集中治療学会専門医 日本ペインクリニック学会専門医 日本周術期経食道心エコー認定医	030518609	4
病理診断科	伊東 良太	りんくう総合医療センター	病理診断科医長	24	×	日本病理学会病理専門医研修指導医 日本臨床細胞学会細胞診専門医 厚生労働大臣死体解剖資格認定 日本病理学会病理専門医	030518609	4

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 030518 臨床研修病院の名称：市立岸和田市民病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経 験年 数	指導医講習会等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番 号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
救急部門	松岡 哲也	りんくう総合医療センター	病院長	40	○	H27年指導医のための教育ワークショップ修了(大阪府医師会) 医学博士 日本救急医学会救急専門医 指導医・日本外傷学会外傷専門医 Acute Medicine & Surgery Associate Editor 臨床研修医指導医 大阪府泉州地域メディカルコントロール協議会会長 大阪府救急医療対策審議会委員・実施基準策定部会委員 大阪府救急医療機関連絡協議会理事・副会長 大阪府泉州地域保健医療協議会委員・泉州地域医療懇話会委員 泉州地域救急医療懇話会会長 泉州地域病床機能懇話会委員・泉州地域在宅医療懇話会委員 大阪府災害医療協議会委員 SSTT運営協議会理事長代表理事・SSTT Surgical インストラクター JETECインストラクター	030518609	4
救急部門	中尾 彰太	りんくう総合医療センター	救命救急センター所長 兼 Acute care surgeryセ ンター長兼	24	○	指導医講習会受講済(H29大阪大学) 日本救急医学会認定医・専門医	030518609	4
救急部門	成田 麻衣子	りんくう総合医療センター	救命診療科部長兼 危機管理室長	20	○	臨床研修指導医養成講座受講済(H31自治体病院協議会) 日本救急医学会認定医・専門医 日本外科学会専門医 日本外科学会専門医	030518609	4
救急部門	福間 博	りんくう総合医療センター	長兼臨床研修副センター長	17	○	指導医講習会受講済(H30大阪市立大学) 外傷専門医 救急科専門医	030518609	4

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 030518 臨床研修病院の名称：市立岸和田市民病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経 験年 数	指導医講習会等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番 号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
救急部門	臼井 亮介	りんくう総合医療センター	救命診療科医長	17	○	救急科専門医 外科専門医 外傷専門医 IVR専門医 集中治療専門医 脈管専門医 血管内治療医 腹部救急認定医 第21回高知県臨床研修指導医養成 ワークショップ修了	030518609	4
救急部門	福島 大	りんくう総合医療センター	救命診療科副医長	11	○	日本外科学会専門医 ICLSインストラクター	030518609	4
救急部門	根来 孝義	りんくう総合医療センター	救命診療科副医長	12	○	日本救急医学会専門医 日本集中治療医学会専門医 MCLSインストラクター 大阪府災害医療コーディネーター 日本DMAT隊員・統括DMAT隊員 Infection Control Doctor(ICD)	030518609	4
救急部門	高萩 基仁	りんくう総合医療センター	救命診療科副医長	11	○	日本救急医学会専門医 日本医学放射線学会専門医 日本医学放射線学会診断専門医 日本IVR学会専門医・指導医 日本集中資料医学会専門医 胸部ステントグラフト実施医 腹部ステントグラフト指導医 日本DMAT隊員・大阪DMAT隊員	030518609	4
精神科	永野 龍司	七山病院	院長	26	○	七者懇指講0561-09 ,精神科専門医	030518609	3,4
精神科	本多 義治	七山病院	名誉院長	45	○	七者懇指講0562-26 ,精神科専門医	030518609	2,4
精神科	本多 秀治	七山病院		38	○	七者懇指講0562-27 ,精神科専門医	030518609	4
精神科	高橋 弘幸	七山病院	副院長	24	○	七者懇指講22S1-012 ,精神科専門医	030518609	4
精神科	九鬼 一隆	七山病院	医局長	14	○	七者懇指講19S2-014 ,精神科専門医	030518609	4

## 3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 030518 臨床研修病院の名称：市立岸和田市民病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経 験年 数	指導医講習会等の受 講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番 号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
精神科	高瀬 勝教	木島病院	院長	30	○	精神保健指定医 平成21年 関西医科大学	030518609	3、4
精神科	西村 隆宏	木島病院	副院長	38	○	精神保健指定医 平成27年 精神科七者懇会	030518609	4
救急部門、選択(救 命救急センター)	溝端 康光	大阪公立大学医学部附属病院	教授	40	○	第35回医学教育者のためのWS(富士研)、平成25年度プログラム責任者養成講習会、日本外傷学会認定外傷専門医、日本外科学会認定外科専門医、麻酔科標榜医、日本救急医学会認定救急科専門医、日本救急医学会指導医、日本集中治療医学会認定集中治療専門医、日本外科学会認定指導	030518609	3、4
救急部門、選択(救 命救急センター)	内田 健一郎	大阪公立大学医学部附属病院	准教授	18	○	第14回大阪市立大学臨床研修指導医養成のためのワークショップ、日本救急医学会認定救急科専門医	030518609	4
救急部門、選択(救 命救急センター)	西村 哲郎	大阪公立大学医学部附属病院	准教授	33	○	平成25年度近畿ブロック臨床研修指導医養成講習会、日本救急医学会認定救急科専門医、日本救急医学会指導医、日本外科学会認定外科専門医	030518609	4
救急部門、選択(救 命救急センター)	宮下 昌大	大阪公立大学医学部附属病院	講師	18	○	第15回大阪市立大学臨床研修指導医養成のためのワークショップ	030518609	4
救急部門、選択(救 命救急センター)	岡畠 祥憲	大阪公立大学医学部附属病院	病院講師	17	○	信州医科大学卒業教育ワークショップ2010、小児科専門医、救急専門医、集中治療専門	030518609	4
救急部門、選択(救 命救急センター)	佐尾山 裕生	大阪公立大学医学部附属病院	病院講師	15	○	平成29年度徳島県臨床研修指導医養成講習会、救急専門医、航空医療学会認定指導	030518609	4
救急部門、選択(救 命救急センター)	芳竹 宏幸	大阪公立大学医学部附属病院	病院講師	11	○	第25回徳洲会グループ臨床研修指導医養成講習会、日本外科学会認定外科専門医、麻酔科標榜医、がん治療専門医	030518609	4
救急部門、選択(救 命救急センター)	日村 帆志	大阪公立大学医学部附属病院	病院講師	11	○	第23回大阪公立大学臨床研修指導医養成のためのワークショップ	030518609	4
救急部門、選択(救 命救急センター)	松塚 栄恵	大阪公立大学医学部附属病院	後期臨床研究医	9	○	第22回大阪公立大学臨床研修指導医養成のためのワークショップ	030518609	4

※ 「担当分野」欄には、様式A-10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医(指導医)については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。)

\* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

\* 臨床研修指導医(指導医)・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年(84月)以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

25. 臨床研修病院群の時間外・休日労働最大想定時間数の記載（基幹型記入）

基幹型病院の名称（所在都道府県）： 市立岸和田市民病院 （ 大阪府 ）

プログラムの名称： 市立岸和田市民病院臨床研修プログラム

病院名	病院施設番号	種別	所在都道府県	時間外・休日労働 （年単位換算） 最大想定時間数	おおよその当直・日直回数 ※宿日直許可が取れている場合はその旨を記載	参考 時間外・休日労働 （年単位換算） 前年度実績	C-1水準 適用
市立岸和田市民病院	30518	基幹型	大阪府	960時間	5回	最大852時間 平均735時間 対象となる臨床研修医7名 (2024年度)	適用 申請中 申請予定
							適用 申請中 申請予定
							適用 申請中 申請予定
							適用 申請中 申請予定
							適用 申請中 申請予定
							適用 申請中 申請予定
							適用 申請中 申請予定
							適用 申請中 申請予定
							適用 申請中 申請予定

- ※ 該当する項目について、基幹型臨床研修病院を筆頭にして、協力型病院については施設番号順に詰めて記入すること。
- ※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設の病院施設番号、病院種別（基幹・協力）、所在都道府県、時間外・休日労働（年単位換算）の最大想定時間数、おおよその当直・日直回数（宿日直許可が取れている場合はその旨）、及び前年度の時間外休日労働の年単位換算実績を記入すること。
- ※ 想定時間数は、プログラムに従事する臨床研修医が実際に従事することが見込まれる時間数について、前年度実績も踏まえ、実態と乖離することのないよう、適切に記入すること。